

団体活動報告書

記載日：令和 7年 5月 17日		団体登録番号		第 381号	
ふりがな	イワテケンモウマクシキソヘンセイショウキョウカイ				
団体名	岩手県網膜色素変性症協会				
ふりがな	チバ カズヤ	ふりがな	チバ カズヤ		
代表者名	千葉 和也	記載者名	千葉 和也		
前年度の活動内容	活動期間：2024年4月1日～2025年3月31日 定期総会、医療講演会、学習会、役員会 会員交流会、視覚障がい者のための情報機器展、「網膜の日」普及推進活動				
主な活動日	2024年4月28日、5月26日、8月24日、9月16日、10月6日 12月15日、2025年2月2日				
主な活動場所	団体活動室1、2、3、ラウンジ				
貸ロッカー	利用： 有 番号： 67、68	貸レターケース	利用： 無 番号：		
ボランティア情報	※ボランティアの募集等がございましたら記載ください。（活動内容・場所・日時等）				
他の団体や県民の皆さんへのメッセージ （ご自由にお書きください）	私たちの団体は眼の難病である網膜色素変性症の患者団体です。徐々に視力が低下し、視野も徐々に狭くなっていき、最悪の場合は失明に至ります。いまだ治療法は確立されておらず、1日も早く確かな治療法が実現できることを希求しています。 私たち患者会では、QOLの向上と自らの力で治療法の確立をというポリシーのもとに活動を行っています。生活の質の向上という点では、多様な視覚障がい者用の情報機器が開発され社会参加の助けになっています。しかし、社会においては様々なバリアがあり、自らでは対処出来ない場合があります。そんな折には、晴眼者の力を借りることで大きな助けとなります。視覚障がい者が困っている様子の時は、お声がけをいただき、お力添えをお願いします。治療法の確立という点では、毎年治療法を研究しておられる先生方に研究助成資金を提供しています。治療法を研究している大学の研究者、医療機関の先生方の研究が進み、近い将来確実な治療法に結びつくことを心から願っています。 難病の治療法研究には資金が必要です。研究助成金は、私ども会員の会費と寄付から捻出しています。 治療法研究が確実に進むよう、県民の皆様から物心両面において多くのご支援、ご協力をいただければ幸甚でございます。 どうぞ宜しくお願いいたします。				

【留意事項】

※登録団体は、毎年4～6月末日までに前年度の「団体活動報告書」（この様式：県活様式1-9）を提出してください。NPO活動交流センターで閲覧します。

※2年連続して「団体活動報告書」の提出がない団体は、団体登録を抹消します。

※団体登録内容に変更がある場合は、「団体利用登録（変更）申請書（県活様式1-1）」を提出してください。

2022.5改



センター使用欄					
受付者	/	入力者	台： /	DB： /	検索者